

中国金融業の海外進出と対外直接投資に関する調査研究

Study of China's outward FDI and the globalization of Chinese banks

門 闖（MEN Chuang）

本研究では、中国の金融業に着目し、その海外進出を研究対象とし、中国経済論・経済史のアプローチに則って中国対外経済政策の展開過程および金融機関の対外進出の実態について、実証的に明らかにしている。その目的は、固有の特性を有する中国経済がいかなる形で対外関係の拡大をもたらし、それがどのような経路で世界経済および周辺地域へ影響を及ぼすのかを究明する点にある。そのために本研究は、歴史的観点から中国の対外関係を連続的に捉えることにより、システムとして機能する中国経済の外延拡大による世界経済および周辺地域への影響を考察している。具体的に、本研究は、中国対外直接投資（outward foreign direct investment、以下、OFDI）に関するデータの整理から着手し、中国 OFDI の進出国・地域の立地条件及び中国との貿易・経済協力関係を考察した上で、長年にわたる海外進出により形成した中国銀行業のグローバル・ネットワーク及び国内の地域開発と結び付けて進められた「一帯一路」構想における地方セクターの躍進を事例に、中国 OFDI の特徴と行動原理を究明している。

中国銀行業のグローバル・ネットワークに関しては、本研究は中国銀行業の進出国・地域との地理的制度的距離及び中国政治運営の政権交代サイクル等の要因を取り上げ、銀行業のグローバル・ネットワークの特性について、計量分析を通じて分析を加えた。分析結果として：(1) 中国銀行業の海外進出は資金調達を中心に経済発展水準の高い国・地域を進出先として選び、またアジアを優先に海外進出し、地理的な要素は重要なファクターとなっている。(2) 中国銀行業の海外進出には政権交代のサイクルが存在する。とりわけ政権交代の直後に、内外へアピールするため、銀行業の海外進出を促す特徴がみられている。(3) 中国銀行業のグローバル・ネットワークは、中国 OFDI の追加投資に有利に働くことが確認できている。

そして「一帯一路」構想における地方セクターの躍進については、本研究は政治主導の成長モデルの下、地域の開発と結びつけて進められた中国の OFDI に対し、地方セクターの進出拡大に注目してその特徴を検討している。そこで、中国の OFDI を中国経済の外延的拡大と理解し、短時間で OFDI の急成長を達成させた要因を、中央と地方の関係構造に規定される投融資体制に求めた。すなわち、財政支出や設備投資の大半を担う地方セクターは、地域開発戦略と結びつけて一斉に対外投資の行動をとった結果、短期間での OFDI 急成長をもたらしたとしている。研究成果の一部は門闖「中国の投融資体制と対一帯一路直接投資」（2020年近刊）に反映している。